

科目名	医学検査セミナー (Medical Technology Seminar)			科目コード	450
開講学科	臨床検査学科	選択区分	自由	単位数(時間)	1単位(30時間)
科目区分	専門科目	履修時期	3年次後期	関連DP	臨③④⑤
担当教員	臨床検査学科全教員				
授業概要	医学検査の進歩は近年めまぐるしいものがある。その中で臨床検査技師として各分野のトピックス、臨床検査に関する研究にふれることは重要である。オムニバス形式で各分野を担当する教員によって最近の医学検査のトピックスと教員が実際に行っている研究内容を学び、そのテーマについて科学論文の読み方、書き方文献検索法などの研究手法について習得するとともに、研究や医療における倫理についても学習する。また、医療従事者として生涯学習およびキャリア形成の必要性について学び、その実践法についても理解する。なお、医学検査に関する特別講演等も受講時間とする。				
授業目標	臨床検査技師として必要な医学検査に関係する最新のトピックスと生涯学習の重要性について学ぶ。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	イントロダクション	本講義開講の目的・概要および臨床検査技師における生涯学習とキャリア形成の重要性について	学科長
2	臨床血液分野	血液細胞表面抗原の解析、臨床血液のトピックス	山岡源治
3	微生物検査分野	病院感染の起炎菌の特性、疫学調査、微生物検査分野のトピックス	北尾孝司
4～5	細胞生物学、遺伝子検査、生化学、臨床化学分野	細胞核の構造と機能解析、細胞生物学のトピックス 骨代謝異常の遺伝子・生化学分析、糖尿病代謝異常の解析遺伝子、臨床化学検査分野のトピックス	檜枝美紀 高田智世 佐田榮司 伊藤晃
6	病理細胞組織検査	癌、前癌病変における細胞診診断、病理組織細胞検査分野のトピックス	則松良明
7	免疫血清分野	臨床応用を目指した癌・感染症の免疫学研究	山田武司 荒川裕也
8～9	生理機能検査	呼吸循環の調節機構と病態、環境ホルモンと不整脈、ストレスと脳機能、細胞の情報伝達や機能調節と病態	山口文徳 岡村法宜 濱智子
10	一般検査	代謝異常と尿検査その他	徳原康哲 細川翔
11	臨床検査における色彩工学	顕微鏡像等における色の記載は主観的であり客観的ではない。これをどのように乗り越えるか他分野の例をあげながら話を進める。	佐川輝高
12	就職時に選ばれる検査技師とは“非真面目のススメ”	心臓の動き(電位差)を2次元で捉える心電図、3次元で捉えるベクトル心電図、長時間に渡り捉えるホルター心電図、これらは非真面目さの中から生み出された。非真面目は0を-1にする。非真面目は0を1にする。当日は非真面目が職場で愛されるのは何故かを解説する。	学科長 (教育協力者: 西山政孝)
13	臨床検査、臨床検査技師のさらなる発展	臨床検査技師としての未来像とキャリアデザイン～自分を活かせるスキルを知ろう～	学科長 (教育協力者: 高村好実)
14～15	特別講演、レポート作成など	特別講演、レポート作成など	学科長 教務委員
成績評価方法		レポート	
教科書		適宜資料を配布する。	
参考図書等			
授業時間外の学習について			
関連科目		すべての専門基礎科目、専門科目、特に449 医学検査研究	
備考		<u>実</u> 臨床検査学科全教員：臨床検査技師(医療機関・検査機関) 医学検査のトピックスについての内容の詳細については後期授業開始時に追加して提示する。講義の順番は変更する場合がある。	

(24 臨床検査学科)  
カリ